FinePlay!!

豊中市立第五中学校
第３学年６５期　No.28
2018 年 11 月8日（木）

第3回実力テスト講評

第３回実力テストはどうでしたか。進路に向け本格的に動き始めましたね。勉強してきたことを発揮するのがテストです。学年の雰囲気も学習に対する意識が高まってきているのではないでしょうか。

<u>さらに自分の力を向上させるには各教科の先生の話やコメントに素直に耳を傾けること、そして必ず復習することが重要になります!!</u>

気持ちで負けるな！６５期生！

教科	各教科担当からのコメント
国語	国語という教科は、暗記がほとんどで、覚えれば何とかなる・・・と未だに思っている人が多いようですね。非常に残念です。普段の授業で新しい言葉が出たときや、文法など、覚えることは確かに必要です。ですが、それが今回どれだけ役に立ちましたか？そして、今後どれだけの期間、記憶できますか？みなさんは記憶力に自信があるのでしょうが、国語の力というには程遠いものである、といい加減に理解してください。皆さんが身につければいけないのは、他人の意見を読み取り、自分の意見を正確に伝え、語彙を増やすことです。暗記ではなく理解。時間は残されていませんので、本気でやってください。
社会	≪地理≫世界地理はアジア、日本地理は関東地方からに出題。どちらも入試では頻出です。赤道の位置、宗教、都心の昼夜の人口比、工業地帯など基本的な問題ばかりです。次からは絶対正解するように。 ≪歴史≫鎌倉時代、江戸時代の人物、近現代の年表からの出題。基本的なものは間違わないように整理し、誰が何をしたのか、何年に何が起きたのかをもう１度たどりましょう。 ≪公民≫憲法、家族の範囲、ＰＫＯなどの略称の問題を中心に出題。最近習った内容なので比較的できていました。 難しい問題を解けるようになることも、とても大切ですが、簡単な問題を間違わないようにすることが大切です。ミスを減らそう、漢字を何回も練習しよう。 何度も何度も問題集を解いて、第４回実力テストを迎えましょう。

数学	今回は出題者から見て「これはできてほしいなあ」という問題が６割ぐらい。それよりちょっと難しいのが２割ぐらい。「これができたらかなり力があるなあ」という問題が２割ぐらいという構成でした。採点をして、「これはできてほしいなあ」と考えていた問題の出来具合が予想以上に悪かったのは残念でした。定期考査ではできるであろう問題も実力考査では×になるということはまだまだ力不足というしかありません。入試(実力考査)で得点するには問題数をこなし経験値を上げていくこと、そして解き方を定着させていくことが必要です。これからの皆さんの粘りに期待します。
理科	大問１植物動物（１・２年）大問２電気（２年）大問３質量保存の法則（１・２・３年）大問４地震・火山（１年）大問５アラカルト　から出題しました。用語の問題は、非常に重要な単語を中心に出題したので、もう少しできなければならないのでは・・・。全体通しても、解答欄のミス、漢字のミスなどまだまだ基本的なミスが散見されました。そろそろ気合いを入れてもいいのではないでしょうか。君たちの奮起に期待します。
英語	今回は、第１回目実力考査の振り返り、第２回目実力考査の振り返りがすべて反映された実力考査でした。「１・２年生の復習（特に英文法)」「１・２年生の教科書にでてくる英単語」については、重点的に準備しておいてね、と夏休み前から何度も伝えていましたが…。あなたはどのくらい準備しましたか。自分が努力した分が正直に結果に表れたかと思います。本気で時間をかけて準備したことは、必ず結果として自分にかえってきます。 ここでもう一度伝えておきます。 「１・２年生の英文法」「１・２年教科書の英単語」については しっかりと何度も繰り返し復習をしてください。何から復習すればいいのかわからない場合は、菅谷まで相談してください。家庭学習用の学習プリント等、必要であればこちらで準備します。 （※公立入試の英語は約７割が１・２年生の学習内容から出題されます。） まだまだ入試本番まで時間はあります。あせらず、優先順位をよく考えて、家庭学習の内容を充実させていきましょう。自分が決めた目標に向けて頑張るんやで！